

めざせ よみめいじん

2学期が始まり、お子さん達は日に焼けた元気な姿で登校しておられること
 でしょう。朝晩はめっきり涼しくなりました。、日中も雨天が続きます。
 しっかり体調管理をし、はつらつと過ごせるようよろしくお願いします。



さて、皆さんのお子さんは 字を読むことが好きですか？
 1年生の1学期に、ひらがなを1文字1文字読んだり書いたりする学習を積み上げ、
 夏休みには自分で絵日記をかくまでに上達しました。ひらがなを読んだり書いたり
 することはこれからずっと続く学習や活動に必要です。しっかり力をつけて欲しいと考えます。
 そこで、今年度倉吉市では市内全小学校1年生に「MIM-PM」という「読む力を確認し、分かりやす
 い指導を工夫する」教材を使い、毎月上旬に検査を行って指導に役立っています。

検査は・・・

テスト①

正しく書いてある言葉を選びましょう。

はじめ

3 おどろ おどろ おどろ	2 おんがく おんがく おんがく	1 きつつき きつつき きつつき
10 おちそお おちそお おちそお	9 しにで しにで しにで	8 かると かると かると
17 こおへ こおへ こおへ	16 うわはき うわはき うわはき	15 ひよこ ひよこ ひよこ

テスト②

三つの言葉に分けましょう。

はじめ

6 べんきようほうちようきようだい	5 おもちゃじゃがいもでんしゃ	4 しっぽきつてがつき	3 よういんくうきふんきう	2 ふじさんめいずかばん	1 ふくろけしきかたち
20 きようみようじぎようれつ	19 かぼちゃよしちよきん	18 しっぽきつぷいっぴぎ	17 ぞうこうていうんどうかい	16 ごはんながればしぼめん	15 かいのりすすいか

○検査時間は、それぞれ1分間です。短時間で検査は終了します。








ところが問題数はたくさんあり、大人でも最後までなかなかたどりつ
 きません。どうしてそんなにたくさん問題数があるのでしょうか？
 それは、早く進む子も終わらないようにするためです。検査中に「で
 きた！」という声がすると、頑張っている最中の子はガックリするこ
 ともあります。さらに、毎月できる数がだんだん増えることを実感で
 き、意欲を高めることもねらっているためです。



テスト①では・・・

○文字を正しく読む、正しく認識する力を確認します。

7月に学習した「小さく書く字」を含む単語の問題もあります。

35  ヘリコプター ヘリコプター ヘリコプター	34  しょうじょう ひょうじょう しょうじょう	33  しんじょ しんじゅ しんじゅ	32  いぶん いぶん いぶん	31  せんぶき せんぶき せんぶき	30  ざりがに ざりがに ざりがに	29  こたつ こたつ こたつ
---	---	---	--	---	--	--

テスト②では・・・

○単語のまとまりをサッと読みとる力を確認します。

単語をまとまりで読み取れば、文章をスラスラ読めるようになり、書いてある内容の理解も深まります。こちらにも小さく書く字が含まれる単語もあり、難しい問題に挑戦しています。

35 ホットケーキ キロケツト ジャングル	34 ひょうたん ちゅうがく せいけん きゅう	33 じゅんばん おうじょ おたま じゃくし	32 おつとせいな つどう ねっしん	31 ぞうきん ふうとう てんどう むし	30 すずめ みつばち がいこく	29 りすく すりはかせ
--------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	---------------------------	--------------------

「MIM-PM」とは、

◎教師が一人一人の理解度を把握し、分かりやすい授業、指導方法を工夫する。

◎児童一人一人の伸びを見る。

ために考案された検査・指導パッケージです。お子さん達と楽しみながら学習を進め、ひらがなやカタカナを読む力を伸ばしていこうと担任一同頑張っています。

「文字を読む力を伸ばす」ためには・・・

◎「聞く力」が必要です。

・文字と音とを結びつける力が育っているから文字が読めるようになります。会話を聞いていて言葉を知っているから並んでいる言葉から単語を考えることができます。

「しっかり聞こうとする力」を育てましょう。

◎「話す力」も必要です。

・文字を声に出して読むためには話す力が必要です。おしゃべり大好きな子どもは言葉数も増えます。優しい、心温まる会話をして言葉を育てましょう。



こんな力を土台にして文字を読む力は伸びていきます。ご家庭での普段の生活が学力にもつながります。ご家族の皆様のご協力も大きな力です。「読書、人との関わり大好き」な子どもを育てましょう。

「MIM-PM」「ひらがな指導」等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課 発達障がい支援アドバイザー 石橋良江
TEL 22-8166 FAX 22-1638

めざせ よみめいじん

倉吉市教育委員会学校教育課

2015. 12. 18

(保護者様)

NO. 2

あっという間に2学期の終業式を迎えます。今学期も保護者の皆様には各方面でご協力いただきありがとうございました。

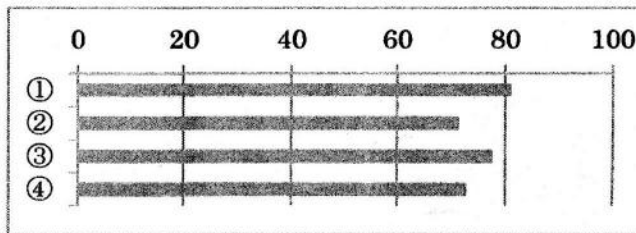
冬休みを迎え、ご家族で大掃除や楽しい計画を立てるなど、夢が膨らんでいることでしょう。

さて、9月1日に「倉吉市内の1年生は、読む力を確認し、分かりやすい指導を工夫するために『MIM-PM』という検査をします」とお伝えしました。お子さんが持ち帰られた練習プリントを見て、ご理解を深めてくださった保護者の皆様の話を聞き、「頑張らねば」という気持ちを強くして取り組んでまいりました。



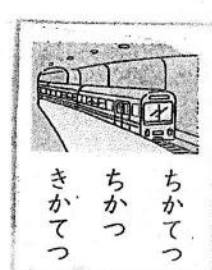
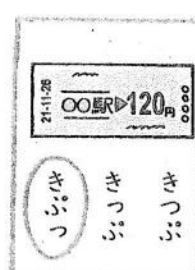
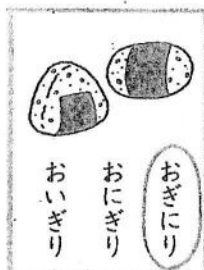
毎月上旬に検査をしていますが、12月の検査では

- ①「よみめいじんは楽しい」 81.8%
- ②「前回より読むことが得意になった」 71.5%
- ③「読むことが好き」 73.5%
- ④「読むことが得意」 72.9%



と、意欲的な姿が見られました。何より嬉しい姿です。

また、「文字を正しく読む力」「単語のまとまりを素早く読み取る力」も伸びてきています。が、まだこんな誤りも見られます。



(無答多)

- ☆パッと見て「わたし」と「たわし」、「おにぎり」と「おぎにり」を間違えてしまう。
- ☆「にんぎよ」なのか「にんぎょう」なのか迷ったのではないのでしょうか。でも誤答数は多かったです。
- ☆「ぶどう」を「ぶろう」。普段の発音をこのように聞いているお子さんもおられると思います。
- ☆「きつぷ」なのか「きぷっ」なのか迷いますね。小さく書く文字の指導は3学期も続けたいと考えています。
- ☆「地下鉄」を知らない児童がいると思われれます。無答数が思いのほか多かったです。

◎「三つに分けることば」では

「うんどうじょう/にゆうがく/じゅう」と分けるところを「うんどう/じょうにゆう/がくじゅう」、「きもの/あなた/たたみ」が「きもの/あな/たたみ」になっていました。

☆「運動場」ではなく「運動」で区切ったり、「あなた」ではなく「穴」で区切ってしまったんですね。語彙を増やすことが色々な分け方に対応できる力につながります。

◎可愛い解答を紹介します。

「テレビ/アルバム/ハイキング」の問題が「テレビ/アルバム/パイキング」になっていました。わざわざ「`」をつけて「パイキング」にしてありました。「パイキング」が好きなんですね。



そこで、家族や親せき・友達と接することが多い冬休み、お手伝いやお年始を楽しむことと合わせ、「団らん」を充実させ、おしゃべり、言葉の力も伸ばしてみませんか。

言葉遊び

年末・年始、日中は忙しいですが、夜は家族そろってノンビリできる方も多きだと思ひます。こどもの「言葉の力」を伸ばすには最適です。

<家族で読み聞かせタイム>

子ども達は「耳から聞いて」言葉を覚えます。その言葉も「優しく心地よい声」で聞くと、心にしみ込みます。物語の中でいろんな話をしながら言葉を増やしましょう。読み聞かせの効用は



- ①家族と一緒に素敵な時間を共有した満足感
- ②自分が可愛がられている自己肯定感
- ③話を聞こうとする気持ち、集中力
- ④「この本を読んでもらおう」という意欲

心を育てる

ことが最も大切です。

さらにオマケとして

- ⑤言葉や文字を覚える
- ⑥興味・関心が広がる

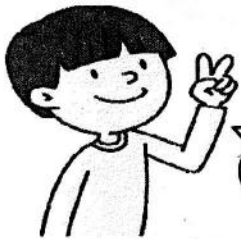
という知的面の向上も期待できます。



年末・年始向けの絵本です。この他にもたくさんありますね。

冬休み開け、担任の先生に「我が家のお薦め本」が話せるといいですね。

<スリーヒントクイズ>



手軽にできる言葉遊びは「しりとり」や「なぞなぞ」です。それに「スリーヒントクイズ」も加えてみませんか？やり方は簡単です。

4本足の動物です。

2つめは・・・
とっても大きい

3つめは・・・
鼻が長い。な～んだ。

子どもが問題を出しても、大人が出しても楽しいですね。3つのヒントで答えが分からなかったらヒントを加えればいいのです。簡単に答えが分かるヒントなら「ヒントの出し方上手!!」、答えが分からないヒントなら「難しい問題が考えられたね」と褒めると、さらにクイズが続きます。

<連想しりとり>

いつものしりとりも少し難易度をアップさせると・・・。



クリスマスは
ケーキ



ケーキは
おいしい



おいしいは
ステーキ

関係する言葉をつないでいくのはとても難しいことですが、それだけ言葉を考えなければなりません。急がず、楽しく、子どもの言葉を褒めながら続けてみましょう。

家族でおしゃべりしながらできるボードゲームやカルタ・すごろく・トランプ等も楽しめますね。

簡単にできる将棋もありますが、おじいちゃん方と本格的な将棋をさすのもいいですね。思い出がたくさんできる冬休みをお過ごしください。

「MIM-PM」「ひらがな指導」等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課 発達障がい支援アドバイザー 石橋良江

TEL 22-8166 FAX 22-1638



めざせ よみめいじん

倉吉市教育委員会学校教育課

2016. 3. 22

(保護者様)

NO. 3

暖かくなったり寒さがぶり返したり、まさに「三寒四温」の季節です。

早いものですね、昨年4月に入学し、大きなランドセルを背負って通学しはや1年。すっかり小学生が板についた姿に目を細めておられることでしょう。

今年度は「ひらがなのよみ名人を目指そう」という取り組みにご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。

今年度の子ども達の頑張りをお届けいたします。

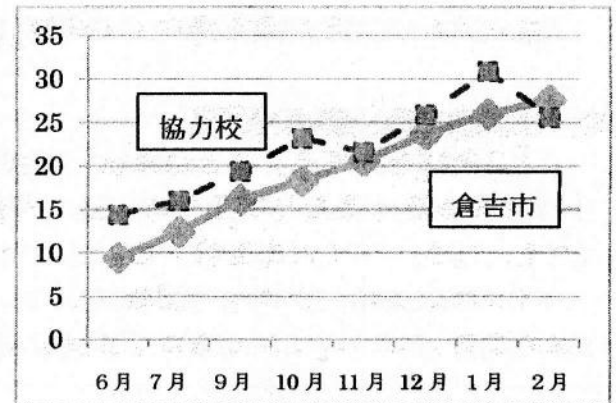


◎平均得点着々アップ!!

右のグラフが1年間の平均点の推移です。

全国の協力校児童の平均点は上下する月がありますが、倉吉市の得点は着実にアップしました。子ども達の頑張りが現れていると思います。

1月の平均点 26点
2月の平均点 27.6点 でした。



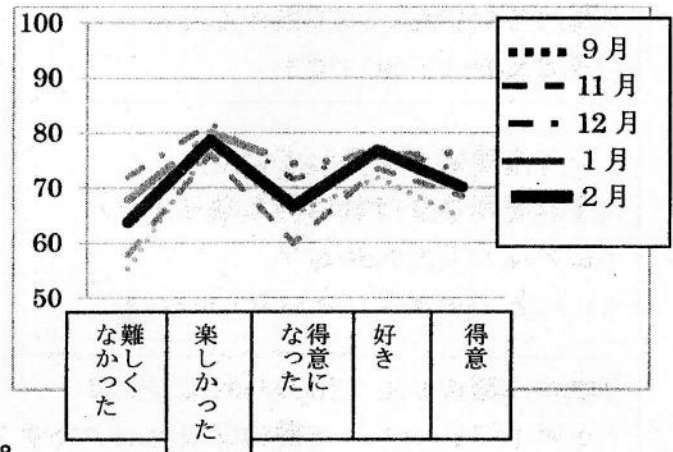
◎意識アンケートも高水準維持!!

2月も「MIMは楽しかった」 78.7%
「得意になった」 66.6%
「読むことが好き」 76.8%
「読むことは得意」 70.1%

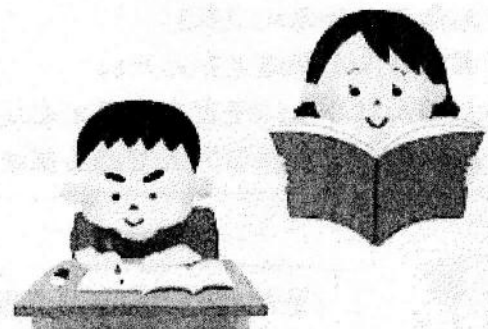
と意欲的な回答が多かったです。

この気持ちのまま、2年生でも読書や音読、学習に取り組めるようにしたいと思います。

学校でも意欲・自信につながる声かけをしています。ご家庭でも今年度をふり返り、次のような声をかけ、お子さんの意欲・自信を大きくアップさせてください。



- ☆1年間よく頑張ったね。
- ☆本をたくさん読んだね。
- ☆文字やお話がスラスラ読めるようになったね。
- ☆小さな字も正しく読んだり書いたりできるようになったね。
- ☆しりとりやクイズもたくさん考えたね。
- ☆ていねいに字を書こうとしていることが分かるよ。
- ☆日記を読むのが楽しみだよ。



◎「だちよ」「だちょう」「だちよおう」??

もちろん「だちょう」と答えている児童が多かったのですが、予想以上に「だちよおう」に〇がありました。確かに声に出してみると「だちよおう」と発音しているようにも聞こえるかもしれませんね。「声」と「文字」をマッチングさせること、正しく書かれている単語を見ることが力を伸ばします。



だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ
だちよ

楽しい春休みは 言葉の力を伸ばす絶好のチャンス！！

◎五感をフル活用した体験と、言葉をつなげましょう

図鑑や絵カードを見て言葉を覚えることもできますが、やはり体験と結ぶことが一番です。絵本や図鑑、映像にもたくさん出てくる「わた毛」。子ども達はよく知っています。しかし、自分でわた毛の茎を折り、「フ〜〜ッ」と吹いて飛ばす体験があるのとならないのでは、「わた毛」という言葉を聞いたり文字を見たりした時のイメージの広がりや全く違います。

家族や友達と一緒に、色々な体験をして言葉を獲得していくと、しっかり身に付きます。また、言葉の使い方も広がります。子ども達の泥んこ遊びも言葉を広げたり、家族の会話を深めたりする大切な活動です。

暖かくなってきた春を満喫する体験をしましょう！！



◎「子どもが育つ魔法の言葉」

「ことばを育てる」ことは単純に「言葉数」を増やすことではなく、コミュニケーションをとったり、考えをまとめたりするために正しく使えるようにすることです。それは「豊かな心を育てること」です。つまり「子どもを育てること」です。

10年以上前に日本中で話題になった、ドロシー・ロー・ノルト博士が書かれた「子どもが育つ魔法の言葉」の本の中から素敵な言葉をお届けします。

自分が好きだということは
私っていいな、って思えること
子どもだって同じです



親は子どもから
子どもは親から
学んでいきます

いくら子どもを愛していても
それを示さなければ何もなりません
伝えなくてもわかる？
いいえ。そんなことはないのです。

子どもと話し合うことは・・・
子どものあやまちを
受け入れることでもあります

親から認められ ほめられることは
子どもにとって 一番のプレゼントです

子どもと生きるということは
自分が子どもだったころを
思い出すということ

「お母さんが悪かったわ」
「お父さんが間違えたんだね」
もしこんなふうにも子どもに言えるなら
それは親が 立派な大人であるあかしです



子どもの好物をつくる時は
前もって知らせましょう
ごはんを待っているときから
楽しみが始まります

子どもがきちんと報告できるような 聞き方を心がけてください
いきなり叱りつけてはいけません 大声でどなりつけてはいけません
その子が、ありのままを話せるような そんな聞き方をしてください

「MIM-PM」「ひらがな指導」等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課 発達障がい支援アドバイザー 石橋良江
TEL 22-8166 FAX 22-1638

